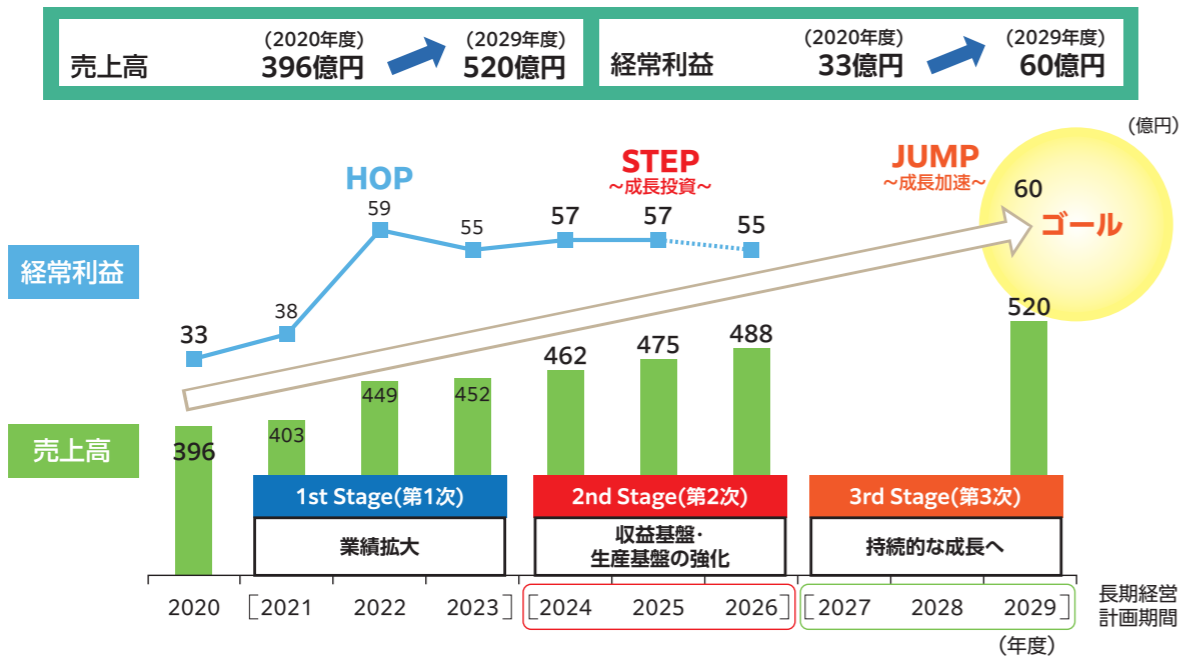


# 経営計画

当社グループは、2029年度をゴールとする長期経営計画「HOKKO Value Up Plan 2029」において、将来のあるべき姿に向かって持続可能な成長を成し遂げるとともに、サステナビリティの向上、マネジメントの高度化、スマート化の推進に取り組みます。

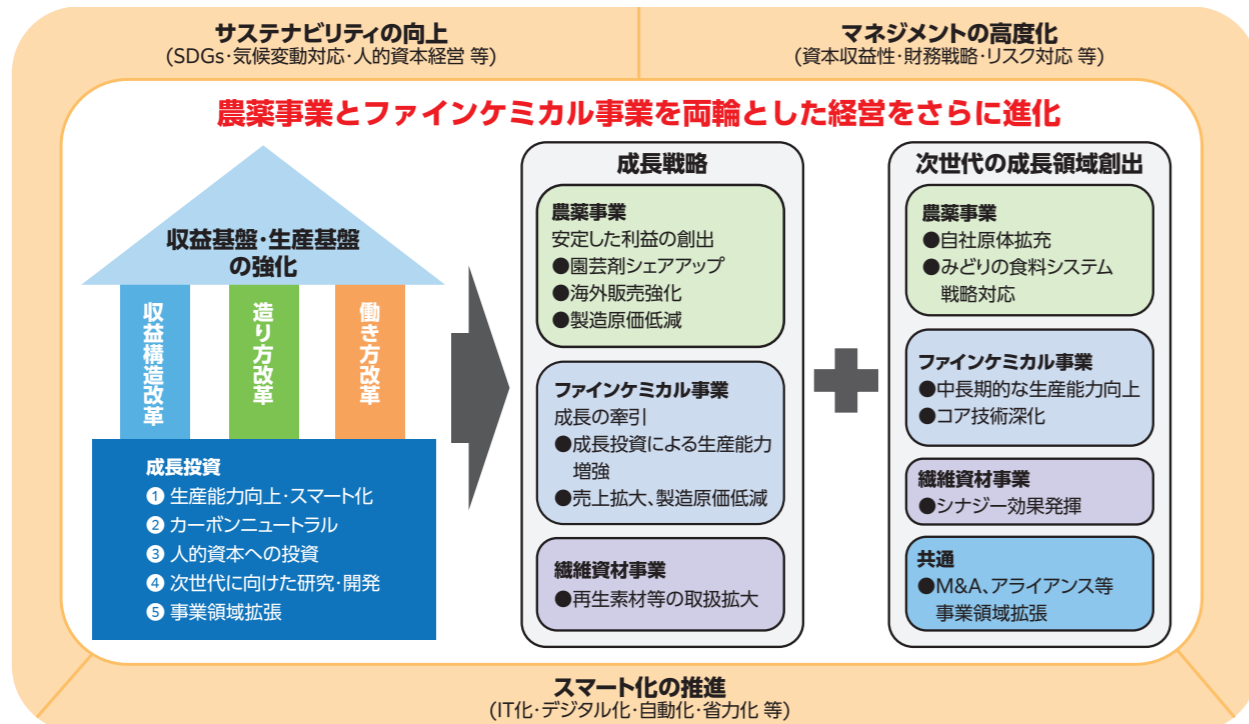
## 長期経営計画 HOKKO Value Up Plan 2029 未来は創造できる ～強く、豊かなHOKKO～



## 第2次3カ年経営計画 HOKKO Value Up Plan 2029 2nd Stage (2024~2026年度)の概要

### 1 計画の全体像

生産能力向上等の成長投資を基盤に、前計画から継続して取り組む3つの改革(収益構造改革、造り方改革、働き方改革)を柱として、収益基盤・生産基盤を強化していきます。



## 2 経営目標

第2次3カ年経営計画(2nd Stage)では、成長投資に集中して取り組むなかで、2026年度経営目標の達成を目指します。

(単位:百万円)

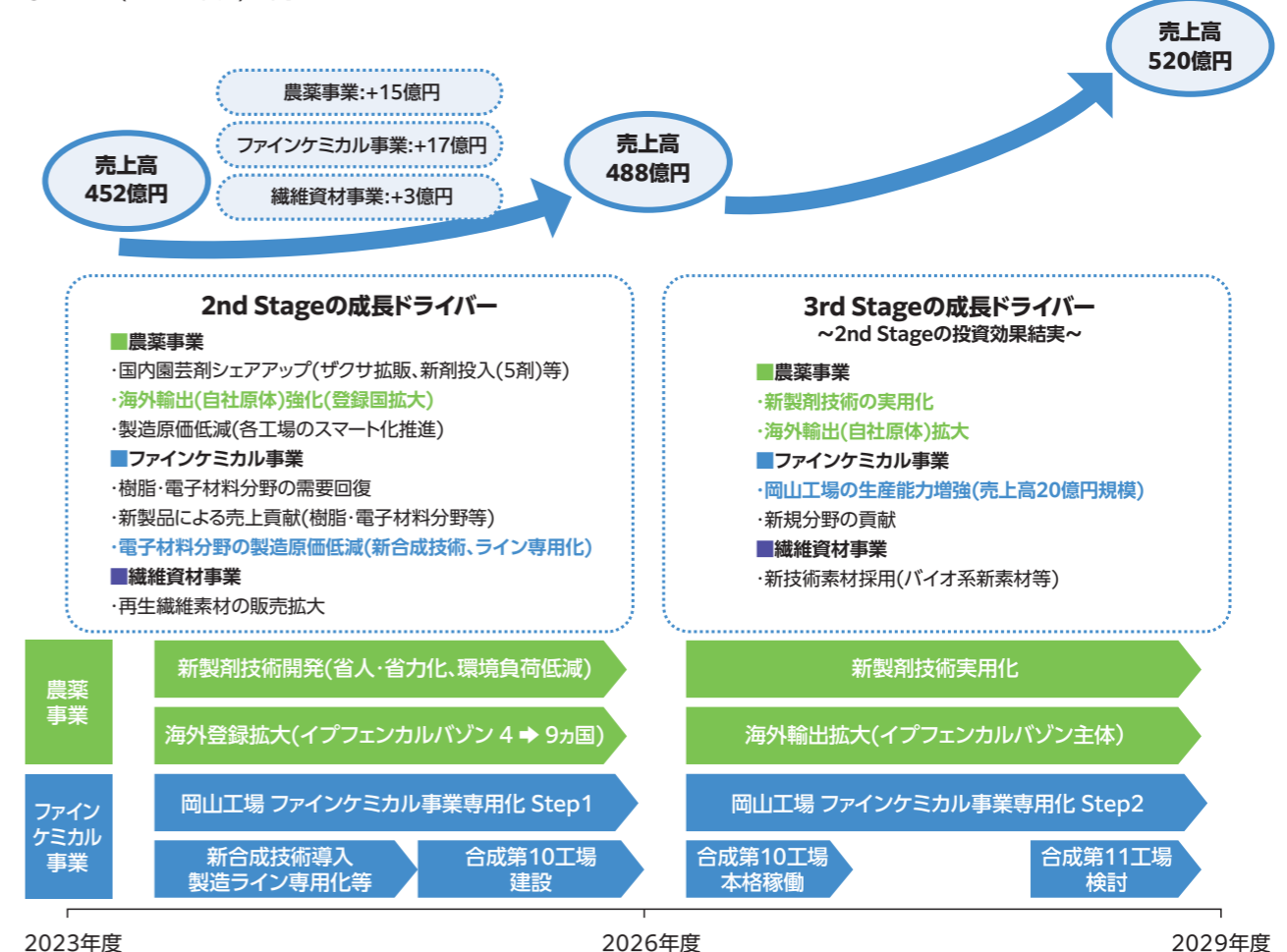
業績	項目	1st Stage (2021~2023年度)	2nd Stage (2024~2026年度)		
		2023年度実績	2024年度実績	2025年度予想	2026年度目標
業績	売上高	45,227	46,195	47,500	48,800
	経常利益	5,474	5,691	5,700	5,500
資本収益性	ROE	8.8%	8.6%	—	8%以上
	ROIC	5.8%	6.3%	—	6%以上
財務健全性	自己資本比率	69.3%	70.7%	—	60%以上を維持

## 3 成長戦略

### ①成長投資

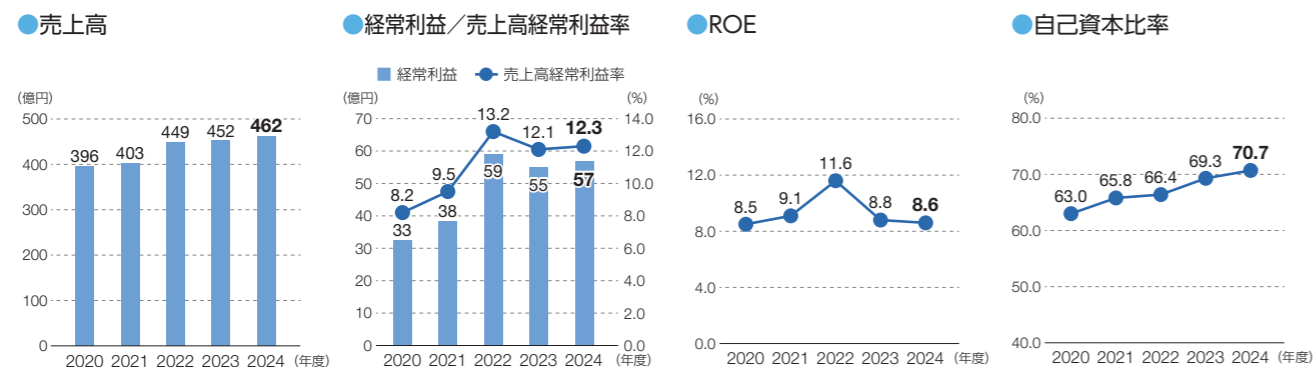
- 成長を牽引するファインケミカル事業の生産能力増強(樹脂、電子材料分野等)、サステナビリティ向上、次世代に向けた成長領域創出を主体として、成長分野への設備投資・投融資を進めます。
  - ・ 成長投資の実行に向け「戦略的設備投資・投融資枠100億円」を設定
  - ・ 事業領域の拡大に向けたM&A・アライアンスの活用検討を加速し、投融資枠を機動的に増枠
- 併せて、農業の再評価・新製剤技術開発・新技術開発に向けた研究開発、人的資本投資拡充を加速します。

### ②ゴール(2029年度)に向けたロードマップ



## 第2次3ヵ年経営計画進捗状況

セグメント	事業戦略	2024年度の主な取り組み
農薬事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 国内販売強化</li> <li>② 海外市場への取組強化</li> <li>③ 製造コスト低減</li> <li>④ 研究開発強化</li> <li>⑤ みどりの食料システム戦略対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ・高拡散性粒剤「楽粒®」の品目拡充(上市4剤)および普及拡大 ・園芸剤「ザクサ®液剤」の拡販による園芸剤比率の向上</li> <li>② 自社原体イプフェンカルバゾンの登録国拡大(インドで取得し5カ国に拡大)</li> <li>③ 生産拠点の集約化推進、工場の自動化・省力化の推進</li> <li>④ 新製剤技術(省力化、環境負荷低減)の確立に向けた開発</li> <li>⑤ バイオスティミュラント剤、天然物由来製品の研究開発強化</li> </ul>
ファインケミカル事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 持続可能な生産体制の構築</li> <li>② 高収益体質の維持・向上</li> <li>③ 持続的な成長</li> <li>④ 中長期的な生産能力向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 岡山工場内施設(危険物倉庫等)の再配置推進</li> <li>② ・半導体素材原料の供給体制増強 ・廃油の有効利用として再生油ボイラー稼働(原価低減、省エネ)</li> <li>③ フォトレジスト製品専用の新工場建設を決定(2026年12月竣工予定) 既存工場を加えたKrFレジスト用原料の生産能力はおおむね2倍</li> <li>④ 岡山工場ファインケミカル事業専用化Step 1を着実に推進</li> </ul>
繊維資材事業	成長戦略の明確化と成長分野への経営資源の投入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境配慮型再生繊維素材の販売拡大</li> <li>・産業用繊維資材の販路拡大</li> </ul>
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>① サステナビリティ向上</li> <li>② マネジメント高度化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ・気候変動(TCFD)に関するリスクと機会の具体化・開示。燃料転換の検討 ・人的資本経営・働き方改革の推進(人材活用、教育研修・福利厚生充実等)</li> <li>② 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」策定。成長戦略の具体化・実践、資本効率向上・株主還元充実を目的とした自己株式取得決定</li> </ul>



## TOPICS

### 岡山工場合成第10工場の建設

当社は、市場の倍増が見込まれる半導体素材分野の需要拡大に向け、成長速度の速いフォトレジスト分野の製造能力増強および高品質なフォトレジスト製品の供給を目的として、フォトレジスト製造専用工場を岡山工場内に新設することとしました。

2026年12月竣工の新工場建設によりフォトレジスト

(KrF用途) 製造能力は、2倍となり、岡山工場におけるファインケミカル事業の製造能力は、約2割増強されます。製造能力増強に加え営業体制を強化することにより、半導体素材分野を軸に売上拡大を図っていきます。



イメージ図

### 海外での農薬登録・販売について

世界人口の増加に伴い、食料の安定的確保が重要視されており、海外の農薬市場はますます成長しています。

当社では、主力の天然物由来殺菌剤カスガマイシンを世界40ヵ国以上に販売しており、1965年に販売を開始して以来今なお拡大する市場に供給しています。

また、国内水稲用除草剤として開発され2013年に

日本で販売を開始したイプフェンカルバゾンを、栽培体系の異なる東南アジアや中南米に展開できるよう、技術を駆使し鋭意取り組んでいます。

2024年末には韓国、ドミニカ共和国、トルコ、台湾、インドでの登録を完了しました。さらに世界最大の稲作地帯である東南アジアをはじめ多くの国での販売を目指していきます。

